

第一回就職レポート

2013/07/07

矢野 恭英

宇野ゼミ生の皆さま、宇野ゼミ卒業生の矢野恭英と申します。大変遅くなりましたが、以下に第一回就職レポートをご報告させていただきます。日々ゼミ内で切磋琢磨しているみなさんにとって参考になることは少ないですが、「こんな先輩もいるのか」と思ってもらえれば幸いです。

社会人 2 年目になりましたので、会社の事業や研修よりも社会人として生きることについて書いてみようと思います。

【社会人になって】

社会人になり、学生時代以上に「いったい自分はどうなりたいのか」について真剣に考えるようになりました。限られた時間の中で自分のやるべきこと、やりたいことをやるためには時間を有効に使わなければいけません。

自分のやるべきことは「会社から与えられるもの」と「自分で気づいて創っていくもの」とがありますが、これは社会人としては当たり前のことです。やるべきことをきちんとやっていくことで周りからの信頼を得られるようになり、少しずつですが仕事の範囲も大きくなっていきます。まだ 2 年目で会社への貢献度は低いですが、動くお金の大きい案件や海外との調整業務などを主担当としてやらせてもらっておりますので身の引き締まる思いです。もちろん先輩、上司に確認をとりながら進める業務も多いですが。社内の他部署と連携しながら進める際にも、入社年数に関係なく自分から積極的に関係者を巻き込んでチームを作っていく力が求められます。つい先日も、「正解のないことにいかに説得力を持たせて認めてもらうか」ということに悩みました。まだまだこれからの課題でもあります。悩むことが現状打破の一步につながっていくと言って厳しく見守り、支えてくれている先輩や上司にも感謝しております。

また、自分のやるべきことだけでなく、やりたいことも持っていたいと思います。仕事に関係のあることもないことも、やりたいことにもとことん力を注ぐことで人としての幅を持てるような気がします。仕事をしている時もそうでない時も私は、自分らしくありたいということにこだわっています。一度きりの自分の人生、やりたいことの中には“今でなきゃ出来ない！”ということもありますので、疲れたとか眠いとか言い訳をせず実現していきたいと思います。

【ゼミ生のみなさんに一言】

アドバイスなど私にはおこがましいので特にありません。

体調を整えて安定したメンタルで楽しく充実した外大生生活を送ってくださいね。
外大卒業生らしくない私ですが、最後まで読んでいただきありがとうございました。
皆さんのこれからのご活躍と宇野ゼミの更なる発展を願って最後とさせていただきます。

以上